



2017年10月27日(金)

NO. 802号 本号3頁

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

市民連合 「第 48 回衆議院議員総選挙に関する見解」

安倍政権の進める憲法改正に反対するための大きな運動を！

市民連合の声明が素晴らしく良かったので、全文掲載します。

第 48 回衆議院議員総選挙に関する見解

10月22日に投票が行われた第48回衆議院議員総選挙において、自民党・公明党の与党はが3分の2の議席を確保する結果となりました。市民連合は、安倍政権がこの多数基盤の上に、憲法の基本精神を破壊する方向でその改定を具体化することを深く強く危惧します。

選挙戦の中で行われたいくつかの世論調査では、内閣支持率が低下し、不支持率を下回るものもありました。その意味で、国民は安倍政権を決して信頼したり、評価したりしているわけではないことは明白です。投票率も戦後最低レベルに留まってしまいました。与党の巨大な議席は、勝者にボーナスを与える小選挙区制度がもたらした、民意からの乖離といわなければなりません。

野党側では、民進党が分裂したことが与党の大勝を招いたことも事実です。総選挙における立憲勢力の前進のために市民と野党と市民の協力体制の準備を進めていたことを無視し、前原誠司代表が希望の党への合流を強引に推し進め、民進党を分裂させ、野党協力の態勢を壊したことは、強く批判されるべきだと考えます。

しかし、立憲民主党が選挙直前に発足し、野党協力の態勢を再構築し、安倍政治を憂える市民にとっての選択肢となったことで野党第一党となり、立憲主義を守る一応の拠点ができたことには、一定の評価を与えたい成果と言えるでしょう。この結果については、自党の利益を超えて大局的視野から野党協力を進めた日本共産党の努力を心から称賛したい高く評価したいとも考えます。社会民主党も野党協力の要としての役割を果たしました。

そして何よりも、立憲野党の前進を実現するために奮闘してきた全国の市民の皆さんのエネルギーなくして、このような結果はあり得ませんでした。昨夏の参議院選挙につづいて、困難な状況のなかで立憲民主主義を守るための野党共闘の構築に粘り強く取り組んだ市民の皆さんに心からエールを送ります。

与党大勝という結果をもたらしたことは残念ではありますが、野党協力が成果を上げ、安倍政治に対抗すべき市民と野党の共闘のあるべき姿がこの選挙戦を通じて明確になったことには意味があると思われます。違憲の安保法制を前提とした憲法9条改悪への反対と立憲主義の回復などを共通の土台とした今回の市民と野党協力の共闘の成果を踏まえ、立憲野党が、無所属、その他の心ある政治家とともに、強力な野党対抗勢力を再構築することを心より期待し、市民連合もその作業を外側から支援できるかぎりの応援をしたいと考えます。

衆議院で与党が3分の2を確保したことにより、安倍政権・自民党は近い将来、憲法改正の発議を行う企てることが予想されます。もちろん、現在の国民投票法は、運動に関する規制があいまいで、資金の豊富な陣営がテレビコマーシャルなどを通して民意を動かすことができるなど大きな欠陥があり、市民連合は現行制度のままでの改憲発議には反対し続けたいと市民連合は考えます。しかし、万一、与党が数を頼んで改憲発議を行った場合、市民連合は、国民投票において、安倍政権の進める憲法改正に反対するための大きな運動をつくるために、立憲野党とともにさらに努力を進

めていきたいと考えます。

2017年10月23日

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

自衛隊9条明記に「反対」が「賛成」を9ポイント上回る！

反対45%、賛成36% **選挙後の朝日世論調査**

衆院選の結果を受けて、23、24日に朝日新聞社が実施した全国世論調査で、安倍首相が意欲を見せる憲法9条改正についても調査しています。「自衛隊明記」について、安倍政権での改正に「反対」45%が、「賛成」36%を上回りました。

年代別では、18～29歳は「賛成」49%で、「反対」34%を上回りました。他の年代では反対の方が多く、特に60代では反対54%に対し、賛成27%でした。他社の調査でも若者に「改憲賛成」の数字が高くなっています。若者を重視した宣伝、とりくみ等の対策が必要です。

男女別では、男性は45%が賛成でしたが、女性の賛成は28%にとどまりました。

支持政党別では、自民支持層では賛成63%に対し、反対は22%でした。一方、立憲支持層では反対が88%にのぼり、賛成は8%。そして、嬉しいことに無党派層では反対44%、賛成21%でした。

改憲の賛否別に、今回の衆院選の比例区投票先をみると、「賛成」の51%が比例区で自民に入れたと答えています。一方、「反対」は34%が立憲に入れ、12%は自民に投じています。

安倍内閣の支持、不支持の理由を4択で聞くと、支持の理由は「他よりよさそうだから」が最も多く44%、続いて「政策の面から」が24%でした。不支持の理由は、最多が「政策の面から」の36%で、「首相が安倍さんだから」の27%と続いています。



希望の党支持率3%に！国民は自民党の補完勢力と見抜いた？

内閣支持率は42%（17、18日実施の前回調査は38%）、不支持率は39%（同40%）でした。また、政党支持率は自民39%に次いで立憲が17%。ほかには公明4%、希望3%、共産3%、維新2%、社民1%などでした。国民は希望の党が自民党の補完勢力であることを完全に見抜き、支持率は3%まで落ち込んでいます。

さらに、自民党と公明党合わせて定数の3分の2を超える議席を得たことについて、「多すぎる」が51%で、「ちょうどよい」32%を上回りました。

自民大勝の理由については「安倍首相の政策が評価されたから」は26%で、「そうは思わない」の65%を下回りました。さらに、今後、安倍晋三首相の進める政策に対しては「期待の方が大きい」はわずか29%に対し、「不安の方が大きい」は54%にのぼりました。

読売新聞 「民進党の分裂で、自民党が過半数に」との調査結果

同日に読売新聞も世論調査を実施しました。その中の1項目のみ紹介します。

○自民党は単独で過半数を大きく上回る議席を獲得しましたが、その理由は？

- ・安倍首相への期待が高かった6、与党の実績が評価された10、ほかの政党よりましだと思われた36、民進党の分裂で野党候補者が乱立した44、その他1、答えない4

「まさに天の時を得た」と、

「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が改憲推進に向けた集会を開催

憲法改正を目指す「美しい日本の憲法をつくる国民の会」は25日、東京都内で集会を開催しました。主催者発表で700人が参加。与野党の国会議員10人が出席し、改憲原案を早期に国会提出すべきだ、改憲発議に向けた取り組みを急ぐ必要性を訴えました。

衆院選で与党と希望の党、日本維新の会の改憲勢力で約8割の議席を獲得したことを受け、出席した自民党の衛藤晟一首相補佐官は「まさに天の時を得た。全力を挙げて発議ができるまで頑張っていきたい」と宣言し、「小池百合子さんのおかげで、民進党が真っ二つになった。希望の党から（立候補するための政策協定書に）憲法改正を認めるというハードルをつくり、こういう状況をつくってもらった」と述べました。



また、山田宏参院議員は「改憲の具体的な項目として、自衛隊の明記を公約に入れた。そして、選挙に勝ったことが最大の勝利だ。国民に約束したのだから、行動を開始しなければならない」と主張しました。公約に掲げたものの、安倍首相はじめ自民党議員は街頭演説でほとんど触れなかったのに、常套手段で国民の支持を得たと悪法を強行してきましたが、今回も同様です。

また、山谷えり子元国家公安委員長は「ゆるゆるとやっていいものではない」と改憲を急ぐよう訴えました。

同会の桜井よしこ共同代表は「選挙の結果、5分の4の議員が改憲派に属する。安倍政権の下で憲法改正を成し遂げなければならない。このチャンスを逃したら本当に後は難しくなる」と呼びかけました。

日本会議や改憲派は、このようにチャンスとして、改憲に突っ走ろうとしています。私たちはそれ以上に奮闘しなければなりません。3000万署名、頑張りましょう！

**安倍9条改憲NO!
全国市民アクション**

**11・3
国会包囲
大行動**

2017年11月3日 (休・憲法発布記念日)
14時00分 START
15時30分 終了 (予定)

再び国会を包囲し、
安倍9条改憲NO!の意思を示そう!

安倍9条改憲NO!
憲法を生かす全国統一署名
にご協力をお願いします。

安倍9条改憲NO!
全国市民アクション

詳細は決まり次第、2次チラシや準備中の
webサイト等でお知らせします。

全国各地で、11月3日憲法公布記念日に集会等が開催されます。選挙で勝利したとして改憲に突っ走る安倍政権に、「私たちは改憲許さない」と怒りの声を上げましょう！

